

令和6年1月30日

篠路茨戸連合町内会

発行責任者 進藤 幸司
編集責任者 田村 美智代

「篠路茨戸連合町内会創立70周年記念祝賀会に想う」

篠路茨戸連合町内会 会長 進 藤 幸 司


謹賀新年

篠路茨戸連合町内会役員

会長 白戸 黎一

副会長 吹田 嘉弘

総務部長 島田 捷利

庶務部長 栗田 勝義

会計部長 吉田 剛

広報部長 田村 美智代

環境部長 東野谷 美香

防災防犯部長 石田 則安

社会部長 藤林 昭二

交通部長 矢瀬 章

文化部長 大沼 満

女性部長 宇内 光枝

女性副部長 阿部 栄子

女性副部長 小林 美枝子

監事 井形 信広

監事 山口 重則

新年あけましておめでとうございます、皆様には明るい希望に満ちた、令和六年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

元日の夕方、楽しいお正月気分が一瞬にして消えました。最大、震度七を記録した能登半島地震、二日の夜は背筋が凍る別のニュースが飛び込んできました。羽田空港では、航空機二機が衝突して炎上しました。こんな新年の始まりがあつていいのだろうかと痛感された二日間でした。

この度の震災に対しまして、心よりお見舞い申し上げますとともに、今はただ、一日でも早い復旧、復興をお祈りいたします。

昨年の十月二十一日（土）午後四時より、ガトーキングダムサッポロに於いて、国道、札幌市の議員の皆様、さらには、企業・団体・学校・各町内会など、参列者一四〇名の皆様のご臨席を賜りまして、創立七十周年記念祝賀会を盛会裡に終えることが出来ましたことに対しまして、心より感謝を申し上げる次第です。

なお、当日は、ご来賓として、札幌市佐々木北区長様より祝辞を頂戴、太平百合が原連合町内会庵跡会長、拓北あいの里連合町内会長尾会長様より祝辞をいただき、その後、連合町内会の多年にわたる功労者として、顧問の三澤禎一様、伊藤英夫様へ感謝状を贈りました。

主催者代表の式辞を掲載させて頂きます。

本日、ここに、札幌市北区長、佐々木美香子様をはじめ、国、道、札幌市の議員の皆様、さらには、企業・団体・学校・各町内会など多くの、皆様方の、ご臨席を賜り、篠路茨戸連合町内会創立七十周年記念祝賀会を、遂行できますことに、衷心から深く感謝を申し上げます。

また、先人各位の、これまでの弛まないご努力と英知に対しまして、深く敬意を表する次第でございます。

私達の住む篠路茨戸地区は、開拓以来、百数拾年もの長い歴史と、自然に恵まれ



た、純農村でありましたが、札幌北部の未来型生活圏として、都市開発が進められ、現在では、約一五八三〇世帯、約三一五〇〇人の人口を抱え、町内会数も五十を数える程に増えております。

七十年の歩みを顧みますと、昭和二十八年に連合町内会が設立されたころの農村地帯から、昭和三十年の篠路村が札幌市へ合併以降、大きな変貌を遂げ、北区の郊外住宅地として、急速に市街化が進みました。

昭和五十九年には、太平百合が原地区が、平成八年には、拓北あいの里地区が、それぞれ分離して、連合町内会が組織されまして現在に至っております。

更には、令和元年には、篠路地区と茨戸地区が一体感を持つて、まちづくりを進めしていく必要があることから、篠路茨戸連合町内会に改称して、活動を強化しているところでございます。

このような中で、篠路駅周辺地区は、鉄道（JR）・道路・空港のアクセス性が非常に良い場所に立地しておりますが、私達の住む篠路茨戸地区は、開基百六年以上の歴史を有し、札幌市内では、古い土地柄でありますながら、街づくりの関係

では遅れていたものの、令和五年度から概ね、十年間とする計画が示されました。

篠路駅周辺地区整備につきましては、道々花畔札幌線の篠路神社前の歩道と車

道の拡幅工事及び、篠路駅前郵便局前の手押し信号機の、篠路駅東通りと、道々花畔札幌線の交差点への、移設につきま

しては、令和八年度の完成予定となつております。

また、八年後には、横新道の北海道銀行前から、篠路コミニセんまでの、車道の拡幅工事をはじめ、JR篠路駅を中心とした。

一七〇〇メートルの線路が、高架化され

ることにより、三箇所の踏切、横新道踏切・学田作場踏切・丸メ街道踏切が、除去され、慢性的な交通渋滞が緩和できます。

同時に、地下歩道も除去されます。このように、篠路駅周辺地区、整備事業につきましては、目下スケジュールに基づき、計画が進められているところでございます。一方、地域の活性化を目的とします。

ソフト面のまちおこしでは、夏祭り・納涼盆踊りは毎年八月に、紙袋ランターン祭りは二月に開催し、この二つの祭りを、篠路地区の新たな伝統行事に仕立てています。

また、藍染め・阿波踊り・子ども歌舞伎・篠路太鼓等の伝統文化につきましても、しつかりと継承し、後世に残すよう活動を支援して参ります。

しかし、近年では、情報化などが進み、また、少子高齢化に一層の拍車がかかるなど、社会構造が、大きく変化をしております、こうした、今日の社会情勢は、地域コミュニティの希薄化を生じさせ、町内会役員の、担い手不足が深刻な問題であり、更には、町内会の加入率の低下を招くなど、大変厳しい現状になつております。

令和二年から猛威をふるつた、新型コロナウイルス感染症の影響により、町内会活動にも変化が求められております。

私ども、篠路茨戸連合町内会は、創立七十周年の節目を契機といいたしまして、これまでの活動を振り返り、人と人との絆を大切に、心新たに地域住民が幸福感を育む街づくりに邁進してまいる所存です。

結びに、本日、ご臨席の皆さま方ははじめ、これまでの連合町内会の発展にご尽力いただきました、多くの関係者の方々に、厚くお礼を申し上げますと共に、今

後とも変わらぬ、ご指導とご協力を賜りますよう、お願ひ申しあげまして式辞といたします。

「新年挨拶」



北区市民部篠路出張所
(篠路茨戸まちづくりセンター)

所長 上口 敦史

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

篠路茨戸地区の皆様方には、希望に満ちた輝かしい令和六年の新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は、篠路出張所及び篠路茨戸まちづくりセンターの運営に対しまして、皆様方の深いご理解と多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの位置づけが変わり、休止していた地域の様々な行事の多くが再開されたところでございます。しのろばらと夏祭り盆踊りやスノーフェスティバルなどで、参加された方の楽しそうな笑顔を見るにつけ、地域社会のにぎわい

や活性化を感じ、自分自身たいへん貴重な経験をさせていただきました。

篠路茨戸連合町内会は創立七十周年となりました。長きにわたり町内会活動を支えてくださった役員をはじめ多くの方々のご尽力に感謝申し上げますとともに、篠路茨戸まちづくりセンターでは、今後とも地域のまちづくりを応援してまいりたいと考えておりますので、より一層のご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

終わりになりますが、篠路茨戸地区の益々のご発展と、皆様方のご健勝をお祈りいたしまして、新年の挨拶といたします。

事業面では五月に「評議員総会」を開催、令和五年度の事業計画、予算等を決議、六月には第一回理事会の開催により手順等について具体的な推進計画を練り上げました。

政策面では福祉のまち推進委員会の統括部会、福祉部会、児童・母子福祉部会等を活発に展開させるべく、幅広に全員参加型の組織的活動の醸成に向け実践しながら成果を挙げてまいります。

推進面では九月に従来から当連合町内会と共に開催している「赤い羽根共同募金の総会」を開催し各委員のご協力を頂き各町内会・事業者、皆様等から貴重な募金活動を十二月二十五日まで続けておりまします、ご協力の皆様にはこの紙面をお借りしまして御礼申し上げます。

同九月「地域ケア会議」を当区民生・



篠路茨戸地区社会福祉協議会
会長 白戸黎一

「年頭のあいさつ」

新年明けましておめでとうございます。

篠路茨戸地区社会福祉協議会の諸活動に対し平素からご協力、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

長い間続いた新型コロナウイルス感染

児童委員協議会、行政、地域包括介護予防センターとの協力共催により町内会を対象に開催しました。

十一月には篠路中学校、篠路西中学校、

チヨボラ会各位のご協力を頂いて福祉体験活動実践の発表会を開催しました。

又十二月には子供達から毎年喜ばれ楽しみにしているクリスマス、餅つき大会を開催いたしました。

新しき年を迎えるにあたり安心、安全、支えあう住みよい福祉の街づくりに向けて邁進すべく、今後共関係諸団体皆様にはご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

なお、地球環境に目を向けると温暖化等の影響により広範囲に水害、干ばつ等の災害が多発し環境面、農海産物等に多大な被害を与えております。

この為、脱炭素社会に向けた取り組みが重要、喫緊の課題であり、この解決に向け先進各國は迅速、積極的に推進していくことを願っております。



「新年挨拶」

札幌市篠路茨戸地区青少年育成委員会

会長 清水和夫

篠路茨戸地区民生委員児童委員協議会

会長 折田尚愛

新年おめでとうございます

地域の皆様におかれましては、青少年の健全育成と非行化防止に、格別なるご理解と心温まるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年四月一日札幌市青少年育成委員の改選があり、再任十五名新任九名合計二十四名に札幌市長より三年間の委嘱状が交付されました。

定期総会において承認された事業計画に基づき活動中、六月から八月まで三回に渡り地区公園パトロールを実施、七月は篠路コミセン夏まつりに出店、かき氷やフライドポテト等を販売、八月は連町主催しのろばらと夏祭り&盆踊りに協力、

十月は篠路文化祭に出店し好み焼きやからあげ等を販売しました。

二月十一日、篠路茨戸地区の冬を代表する一大行事「第四十七回しのろばらとスノーフェスティバル」を連町と共に開催いたしますので、皆様のご来場をお待ち申し上げます。

「新年挨拶」

篠路茨戸地区民生委員児童委員協議会

会長 折田尚愛

新年あけましておめでとうございます。

本年が地域の皆様にとつて実り多き年でありますよう祈念申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症も五類となり、イベントや飲み会の席も多く開催されるようになりました。また、オーバーツーリズムと言う言葉もニュースなどで聞かれるように訪日外国人も多く、札幌市内は賑わっております。今や、新型コロナウイルス感染症も過去のものとなりつつあります。

私たち、篠路茨戸地区民生委員・児童委員は活動を中止する事なく実施してまいりました。

当初は不安を訴える高齢者からの相談も多くありましたが、今では外出を楽しんでおられるようで、顔色もよく安心しております。

篠路茨戸地区民生委員児童委員協議会では、地域の子育て支援として「子育てサロン『ピヨちゃんタイム』」を運営しております。毎月第三木曜日に篠路児童会

館において、〇才児から就学前のお子さんを対象に午前十時から午前十一時三十分頃まで実施しております。自由遊びを中心四季のイベント「四月折り紙でこいのぼりを折る・七月七夕で短冊に子どもの成長を願つてもらう・十月ハロウィン仮装衣装で撮影会・十二月クリスマス会サンタ登場など」を行つております。

また、年三回ほど保健師さんに来てもらい子どもの成長や子育ての悩みなどの相談も行うとともに、行政サービスの情報発信など同じ地域での子育て中の母親同士のコミュニティにもなつておりますので、お気軽に遊びに来て下さい。これからも、地域の皆様に寄り添つた活動をして参ります。

「民生委員・児童委員は、あなたの一番身近な相談員です。」



「新年挨拶」

篠路茨戸地区子ども会育成連絡協議会

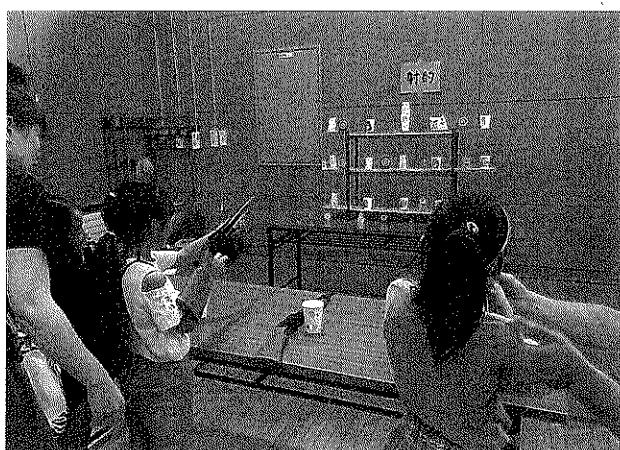
会長 三上 照栄

新年おめでとうございます。

今年度から新型コロナウイルス感染症から解放され、自由に活動が出来るようになりました。

私達子ども会も、例年通りの「篠路茨戸連子ども会夏まつりゲーム大会」を実施しました。八月二十七日午後、用意万端で参加者を待つていたところ、突然の大雨で誰も来てくれないかと案じていました。でも、少数でしたが来てくれました。

玉入れ・お玉リレー・じゃんけん・合戦の団体ゲームとストラッカアウト・運試しゲーム・ダーツ・釣り堀・射的・くじの個人ゲームを遊んで



もらいました。射的は大人気でした。保護者にも団体ゲームを体験してもらいましたが、童心に返つたようで楽しそうでした。

これからも元気な子ども達に楽しんでもらえるように頑張ろうと思っています。

「令和六年 篠路茨戸連合町内会 新年交礼会開催」

庶務部長 栗田勝義

この度、一月六日(土)に篠路コミュニティセンターにおいて、篠路茨戸連合町内会の新年交礼会が開催されました。

今回は、コロナ感染症による数年の中止を挟み、四年ぶりの開催となりました。

参加者は、各議員の皆様・連町地域の企業の皆様・関連諸団体の皆様及び各単位町内会・自治会の方々合わせて一三九名の参加をいただきました。

今年度は、当連合町内会の七十周年に当たりまして、十月二十一日に祝賀会を開催したことありましたので、例年ですとガトーキングダムでの開催でしたが、今年の交礼会は、篠路コミュニティセン

ターにて開催となり、連町役員と関係諸団体皆様のご協力をいただき、手作り感のある新年交礼会となりました。

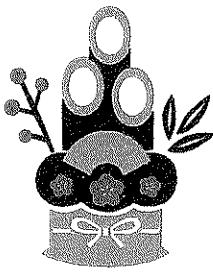
開催にあたり、進藤会長から主催者としてのご挨拶をいただき、続いて来賓紹介・祝電披露が行われました。

続いて、篠路茨戸地区青少年育成委員会会長清水和夫様の乾杯ご発声で祝宴に入りました。

公務多忙なところ、途中から出席されました佐々木北区長様からのご祝辞をいただき、又、各企業様より数々のお祝い品を頂戴しております。

祝宴には、篠路太鼓の皆さんによる太鼓演奏、有志メンバーによるバンド演奏、さつぽろしのじ連の皆さんによる阿波踊り等余興も華やかに行われ盛り上がりました。

最後に、篠路茨戸地区民生委員児童委員協議会会长折目尚愛様の音頭により、新年交礼会を締めていただき盛会の内に終了となりました。



令和6年新年交礼会へ お祝いを頂きました

企業名称
丸新産業株式会社様
有限会社 八王子商会様
アカツキ交通株式会社様
ベルコ・ユアホーム様
やわらぎ斎場 篠路様
篠路コミュニティセンター様
(株)共同道路様
(株)ミカタ様
丘珠空港ビル(株)様
北東地区除雪センター様
ワーカーズコープセンター事業団 和気あいあい様



北区長 佐々木美香子様

各町内会の活動報告

「昨年の行事を振り返って」

篠路グリーンハイツ町内会

副会長 石井 美名子

篠路グリーンハイツ町内会が発足して令和三年で創立五十周年になりました。

記念式典などの行事が新型コロナウィルス感染症の影響で中止を余儀なくされました。

当町内会の活動をご紹介させていただきます。

四月 総会・懇親会

五月～十一月 グリーン公園の清掃・

桜花壇の花植・札幌市

夏の清掃運動に合わせ

町内一齊清掃を行う

七月 夏のラジオ体操（グリーン公園）

八月 夏祭り（七夕祭り・子供益踊り・花火大会）

九月 親睦、懇親会（ふとみ銘湯）

本年度若いお母さん達で子ども会を立ち上げ、夏まつりにグリーン公園で出店などで大変な賑わいででした。

子ども会では初めての体験、町内の方々との交流ができたと思います。

「大盛況だった町内会盆踊り」

横新道第一町内会

会長 渡邊進一

七月二十九日(土)・三十日(日)の両日、町内会の盆踊りが四年ぶりに双葉公園で開催されました。

開催期間中は好天に恵まれ、夜になつても暑さが続きました。天候のせいか、あるいはコロナ禍から解放されたせいか、人出は千人近くに上り、筆者の知る限りでは最高となりました。

初日は午後六時から、町内会のお子様による太鼓演奏に合わせて子ども盆踊りが始まりましたが、やぐらの周りをぐるぐる歩くだけでした。どうして踊らないのか聞いてみると、三年のブランクがあつたため踊りが分からぬとのことでした。改めてコロナ禍により失われた空白の長さを痛感させられました。続いて午後七時過ぎから北海盆踊りが始まり多くの方が踊りに参加しました。

二日目は、子ども盆踊りに続き、しのじ連

による阿波踊りと篠路太鼓の演奏が披露され盛り上げに一役買いました。続いて、北海盆踊りの生の演奏と唄に併せて大人の踊りと仮装コンクールが始まりました。踊りの輪は二重になるなど大きな盛り上がりとなりました。

一方、会場には女性部主催の売店が開かれ、生ビール、おでん、焼き鳥などが提供されました。安価で販売すると共に二日間とも盆踊り日和に恵まれ、完売になりました。

また、商店の横に設置したお楽しみコーナーでは、「ヨーヨー釣り」「糸びきあみだくじ」などを用意したところ、お子様たちに大好評で、こちらも早めの終了となりました。

七月は、「大運動会」、八月は「夏祭り」を開催することができました。

運動会は、好天に恵まれ、競技種目を少なくして役員の負担を軽減しました。最後のパン食い競争は、たくさんの参加者が走り歓声をあげていました。

夏祭りについては、役員の高齢化に伴い、縁日の焼き鳥・焼きそばなどの販売は、専門業者に依頼し、体力消耗の少ない作業とし、開催時間も短縮して行いました。

当日は、雨の心配がありましたが無事開催することができ、ゲーム大会では大変盛り上りました。ただ、翌日が大雨で撤収作業が大変でした。

今年も、無理のない範囲で町内の行事を

「昨年の行事を振り返って」

篠路西町内会

会長 吹田嘉弘

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、町内の運営にあたりご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。



による阿波踊りと篠路太鼓の演奏が披露され盛り上げに一役買いました。続いて、北海盆踊りの生の演奏と唄に併せて大人の踊りと仮装コンクールが始まりました。踊りの輪は二重になるなど大きな盛り上がりとなりました。

一方、会場には女性部主催の売店が開かれ、生ビール、おでん、焼き鳥などが提供されました。安価で販売すると共に二日間とも盆踊り日和に恵まれ、完売になりました。

また、商店の横に設置したお楽しみコーナーでは、「ヨーヨー釣り」「糸びきあみだくじ」などを用意したところ、お子様たちに大好評で、こちらも早めの終了となりました。

七月は、「大運動会」、八月は「夏祭り」を開催することができました。

運動会は、好天に恵まれ、競技種目を少なくして役員の負担を軽減しました。最後のパン食い競争は、たくさんの参加者が走り歓声をあげていました。

夏祭りについては、役員の高齢化に伴い、縁日の焼き鳥・焼きそばなどの販売は、専門業者に依頼し、体力消耗の少ない作業とし、開催時間も短縮して行いました。

当日は、雨の心配がありましたが無事開催することができ、ゲーム大会では大変盛り上りました。ただ、翌日が大雨で撤収作業が大変でした。

今年も、無理のない範囲で町内の行事を

実施することができればと感じております。どうか、皆様にとりまして良い年となりますようご祈念申し上げます。

「昨年の行事を振り返つて」

篠路駅前団地第三町内会

会長田中幸雄

新型コロナウイルスも五類となり、いろんな制約が緩和されてきたことから四年ぶりに「三町まつり」をはじめ、年度当初に計画した各行事をこれまで実行してきました。

七月開催の「三町まつり」は衛生管理の関係から初めて外部業者さんに依頼してキッチンカーを導入し、アトラクションはギター生演奏ライブで大変盛り上がらりました。

子供達もヨーヨー釣りなど生き生きとした笑顔で楽しんでおりました。

久々の行事であり、想定以上の来客で焼き鳥等の食材不足で早々に売り切れになるなど課題も残りました。

コロナ禍で失われた三年は、子供達も含めた多くの人々のふれあい、会話、笑

顔を奪うなど大きな影響を与えたものとつくづく思いました。

九月の「敬老の集い」では、フラダンスやカラオケで和やかなひと時を楽しんでいたとき、十月の秋季行事はファミリー向け

「ガトキン大集合」

集合」を企画し、参加者は

一〇〇名を超えるなど人気を呈しました。

今後も、役員一同、力を合わせて地域の会員の皆様と楽しみたい



「今年度の夏祭り」

篠路駅前団地第四町内会

会長治部繁美

こうした楽しそうな雰囲気を目にした時、夏まつり開催の意義を実感しました。

来年度もまた実施したいと思っています。



「篠路こまどり町内会」

副会長 内山真澄

九月十日、四年ぶりにこまどり町内会主催のパークゴルフ大会が開催されました。

今年度開催した「夏まつり」について紹介します。

八月六日(日)に、四年振りの夏祭りを

開催しました。当日はあいにくの雨降りでしたが、心待ちにしていた町内会員の皆様方が、家族共々参加来場してくれました。オープニングセレモニーとして、写真の大太鼓演奏で夏祭りが開始されました。家族や友人達が、和氣あいあいで楽しんでいる様子が、あちこちで見られました。会場二階に設けた縁日会場も、子供達で大変にぎわっていました。

オープニングセレモニーとして、写真の大太鼓演奏で夏祭りが開始されました。家族や友人達が、和氣あいあいで楽しんでいます。

当日は朝から晴れ渡り厳しい暑さの一日になりました。猪股会長のあいさつ、競技委員からルール説明の後、四名づつのグループにわかれ競技が開始されました。競技が進むにつれて日差しは段々強くなり、日陰が欲しくなりますが、コース内にはところどころに、立ち木があるだけでプレイヤーには過酷です。休憩用テントに立ち寄るたびに飲み物で一息ついていました。競技はホールインワンが一度も出ました。

大会の順位は、スコアがそのままかと思つたら、なんとスコア順位は抽選の順番でした。記録的な暑い夏でした、それにも負けず良いプレーをしました。

来年の大会にはもつと多くの会員が参加することを期待して、もつと良い成績を目指しましょう。



「篠路北町内会」

会長 石田 則安

皆様にとりまして本年が幸多き年でありますよう、祈念申し上げます。

当町内会における令和五年度の活動となります。令和五年五月より新型コロナウイルス感染症が五類に移行されましたが、いまだ感染拡大が続いている状況であり、当町内会役員も高齢であり、また感染すると重篤となる既往症をお持ちの方もおられるため役員会、町内会行事も縮小している状況にあります。

春の一斎清掃を行つた以降は町内会会員の接触を避けるため役員のみの活動となつております。今のところ感染状況をみながら今後の活動を検討しているところであります。

「篠路第三グリーン団地町内会」

会長 小貫 秀明

我が歴史ある篠路第三グリーン団地町内会は、ほぼ中央に誰でも気軽に利用できる「さくらんぼ公園」があり、年十一



回の清掃時には、会員が多数集まり、環境美化に努めながら、和気あいあいと交流を深める良い機会となっています。また、篠路通りのアンダーパスは多くの住民が通る主要な道路で、我が町内会のど真ん中にあることから、その地の利を活かして、交通安全啓発旗を目立つ位置に設置することで、通行する多数の方の意識啓発につながっています。豪雪地帯の篠路地域ですが、冬期は会員の方々の積極的なご協力により、除雪機を使った道路拡幅による安全でスマーズな車両通行の確保、町内会の拠点である防災センター・消火栓・

ゴミステーションの除雪により、防災意識の啓発や住みよい環境づくりが維持されています。常日頃のご協力に皆感謝し合ひながら、心温まる毎日を送っています。

「新町公園の清掃と

初夏の懇親会の開催」

篠路中央新街町内会

会長 大沼 満

新型コロナ感染症もようやく減少傾向

に向かい、医学上も季節性のインフルエンザと同様の扱いになりました。このことを見られることから、六月十七日（土）

四年ぶりに「新町公園の清掃と初夏の懇親会」を開催しました。当日は、好天に恵まれ四十七名の参加がありました。

「小さな町内会の結束力」

篠路ゆうあい町内会

会長 大門 勝彦

点検をした後、恒例の「ジンギスカン」

パーティが始まりました。参加者は、コンロの周りに座り役員が盛り付けた肉や野菜を受け取りながらとても美味しくいただきました。

子ども達はジュース、大人はビールと

お茶で更におなかを満たした後は、「ミニ縁日」の開催、綿あめや、ヨーヨー釣りに続き、今回初めて行った、スイカ割りもとても好評で会場は笑顔であふれました。最後はお楽しみ抽選会、イチゴ、お米、牛乳券等々の景品が用意され大賑わいました。

みんなでスイカを食べ、事故もなく懇親会が盛会に終了しました。今回、初めて参加する方も多くいて楽しんでいる様子もうかがえ実施してよかったです」と思いました。

これからも、より多くの皆さんに参加してもらえるよう工夫を重ね、交流の場を継続していきます。

コロナ感染の減少から徐々に平常の事業に戻りつつあり、今後は「防災教室」や「お茶飲み懇親会」等の行事を通して、地域に接している僅か八十三世帯の小さな町内会で、昭和四十二年に（旧）郵政省の外郭団体である「郵政互助会北海道地方本部」

が宅地造成した団地で、時代の変遷から町内会員の多くが郵政関係者から郵政以外の方に変わり、二十年前に郵政の「ゆう」と愛するの「あい」を用いた新たな名称に改称しました。町内会員の加入率はほぼ一〇〇%の仲良し町内会です。



「小鳩団地町内会」

会長 橋本幸司

今年度できなかつたレクリエーションなど、次年度以降も楽しい行事が成功しますように！

コロナ禍によつて、これまで多くの行事が中止・縮小されてきましたが、二類から五類への移行を受け、今年は例年どおりの開催を基本とし、賑わいを取り戻していくことを重点において「夏祭り」を実施しました。

地域の親睦を深める町内会の夏祭りですが、昨年度から今の時代にあつたやり方に変えることで、会員の皆様が参加しやすいものになつたと思ひます。

今回、町内会では、焼き鳥、ビール、ジュースの販売をはじめ、子ども会担当でかき氷、そして、くじ引きやダーツなどゲームコーナーが行われ、楽しんでいただけだと思います。

「活動再開」

篠路グリーンピア町内会

会長 田村美智代



びかけ開催、八月には四年ぶりの夏祭りを行いました。雨模様でしたが皆さんのが願いが叶い降らずに終えることができました。

令和六年一月には新年会も行い、少しでも町内会の皆さまとの交流を深めて行きたいと思つています。



「弘済団地町内会」

会長 岡田泰一

先ずは、楽しい行事を復活させて、役員や会員の皆様に喜んでもらうことが大切だと思います。

夏祭りだけでなく、今年度の町内会新年会は、従来通りの全員参加型に戻しての開催となります。が、食べ物等は、お弁当や個包装のお菓子等にするなど感染対策も考えています。

新型コロナウイルス感染症拡大のため町内会の行事をやむなく中止にせざるを得なかつた三年間でしたが昨年度の一月、役員会で新年会をやることにしました。

たくさんの方が参加して賑やかに開催出来ました。今年度の夏はラジオ体操を行なは二件で、子供達の夏休みに「ラジオ体操」を実施参加者は大人を含み十二日間で一三五人でした。他は「七夕のろ

うそく出せ」で参加した子供達は三十名になりました。この他の行事は行いませんでしたので市指定のゴミ袋各サイズ千円相当を各戸に配布しました。

来年度も行事を開催していきます。

「十軒静和会町内会」

会長 東野谷 美香

二〇二三年度に十軒静和会町内会で開催された行事を紹介します。

四月は例年中旬に開催される町内会の総会を開きました。内容は、前年度の活動・決算報告と今年度の活動予定・予算報告です。六月には札幌市から助成がある草刈り・清掃活動を行いました。大人だけでなく子供たちもゴミ拾いに參加しました。七月下旬、学校の夏休みに合わせてのラジオ体操は、児童や保護者や近所の方も参加して下さいました。八月はロウソク出せが子供会や保護者主体で開催され、賛同した会員宅を子供たちと巡りお菓子などを貰う子供たちには楽しみな行事です。九月には六月と同じく草刈り・清掃活動をしますが、札幌市の助成

はなく町内全域を会員だけで草刈りしますので重労働です。十月にはハロウィンが子供会や保護者主体で開かれ、子供たちはゲームでお菓子や景品を貰え楽しんでいました。

冬期は公園もなく会館まで一キロメートル程離れているため、行事はほぼあります。

「東茨戸北町内会」

副会長 山城文則

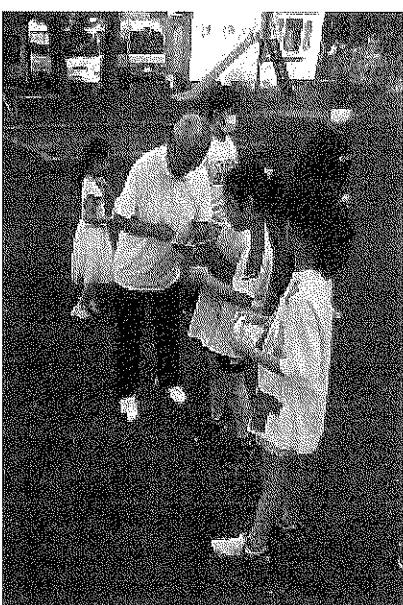
コロナウイルス感染症により、当初予定していた行事はことごとく中止を余儀なくされ、出来たことといえば、春秋の草刈、ゴミ拾いを実施しました。

夏祭りが出来ないことにより、子供たちに少しでも楽しんでもらう為、お菓子・花火の配布をしました。敬老の日は紅白饅頭を配布しました。また、忘年会・新年交換会も会長死去により喪に服すといふことで中止となりました。

新年度は、夏祭り・ラジオ体操・草刈り・ゴミ拾い・敬老のお祝・懇親会（忘・新年会）が出来ることを願っています。

「茨戸中央町内会」

会長 千葉敏勝



これからもみんなが住みやすいと思えるような「茨戸中央町内会」を目指してまいりたいと思います。

「茨戸西町内会」

会長 三間 浩

四年ぶりに総会を開催し、今年度の事業計画を決定したところです。

総務部 夏祭りの開催について
社会部 町内一斉清掃・ゴミステー

ションの除草・冬期の除雪
について

交通安全部 交通安全旗、注意看板の設置・冬期、除排雪時の路上駐車

防犯防災部 自主防災、避難訓練の実施

青少年部 夏休みのラジオ体操の指導
女性部 親睦会、社会見学会の実施
新一年生、敬老の日のお祝品贈呈

七月十六日町内自主防災訓練が実施され、篠路消防署の指導のもと、AED・

防災資器材の取扱の説明、組立の指導もあり、防災意識を高める良い機会となつ

たと思います。訓練後、女性部主催の親睦会が三十一名の参加のもと、成吉思汗を囲みながら、町内の和を深めたことと

思います。

青少年部が行つた、ラジオ体操は七月二十六日から十一日間行われました。二日

間茨戸小の校長の参加もあり、今後の茨戸地区での、子供の安全・見守りについての話ををする機会もありました。

八月五日、四年ぶりに町内夏祭りを開催し、心配していた雨も回避でき、町内で工事をしております中村土木、勇建設の社員の応援もあり、無事準備ができました。

今年は例年になく暑く、食中毒の心配等があり、キッチンカー二台の出店とし

ました。沢山の会員の参加、町内外からの参加もあり、大いに楽しめた一日であったと思います。

秋の一斉清掃は、十月十五日行われ、八十名の参加があり、綺麗な町内になりました。

九月末には、集会所が移転しました。活動の新しい拠点とし、町内の更なる発展の場所になるよう考

篠路茨戸連合町内会

総務部長 島田捷利

令和五年十一月二十日(月)十四時から篠路コミニティセンターで単位町内会(自治会)会長研修会が開催されました。

篠路茨戸連合町内会は四十九単位町内会(自治会)で構成されており、今回出席された町内会(自治会)は二十三町内会で四十七%の参加率となりました。

研修会に先立ち八月十七日に急逝された梅内敏光さん(前総務部長)へ黙祷を捧げました。

来賓として上口敦史篠路出張所長に挨拶を頂き、続いて進藤幸司連合町内会長の挨拶がありました。その内容は「町内会(自治会)の加入率の低下に加え、役員が固定化・高齢化していることや、活動の担い手がないといったことが課題になっている。更に役員のなりて不足は、篠路茨戸地区全体の問題として捉えなければならない。」と研修会の主旨を述べていました。

吹田嘉弘副会長より研修内容の説明がなされ、一班から三班までに別れ各班約八名

「単位町内会(自治会)会長 研修会の報告」

でブレーンストーミング（自由な意見交換）が四十五分間なされた。

グループ討議の結果発表

（司会 上田敦史篠路出張所長）

一班（大沼満文化部長）

★イベントに参加して顔見知りになり役員になつた。

★町内会に協力はするが、役員にはなりたくない。

★町内会がなければ生活に困ることを具体的に伝える。ゴミ収集・除雪など。

★行政からのアドバイス。

★役員・班長に手当を充実しなければ！

二班（吹田嘉弘副会長）

★班長は輪番制にする。

★会則を変えて役員候補を班長から指名してもらう。

★イベントで協力者を役員にお願いする。

★若い人の興味あるイベントを開催する。

★デジタル化の推進。（高齢者への勉強会）

★若い人の集いの場を広げる。

三班（田村美智代広報部長）

★奇数班と偶数班と2年毎に役員を替えていく、今では定着している。

★副会長3名での町内会運営しようとしたが、行政から会長がいないのは無効。

★イベントが少ないのでコミュニケー ションができないので増やす。

★デジタル化の推進。

★役員がいるのだが、高齢のためかイベントが殆どできていない。

討議結果発表をもつて、研修会は終了しました。

し引き続き参加希望者で「懇親会」が開催されました。

高齢者の皆さんのが住み慣れたふるさとで、いつまでも安心して暮らしていくための取り組みに今後ともご理解のほど宜しくお願いいたします。

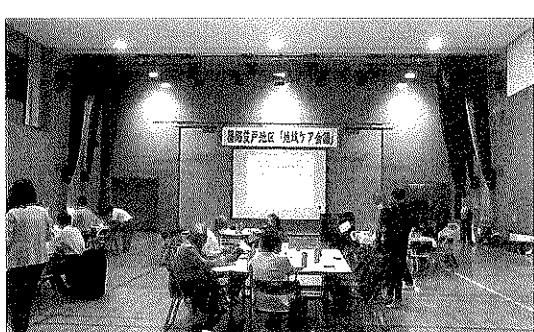
かねてから連合町内会・民生委員児童委員協議会と共に進めています「見守り活動」について、実践されている町内会・自治会の皆様と日頃感じている問題（課題）や対策案等を話し合いました。最前線で活動されている皆さんならではの貴重な情報を拝聴できましたことに感謝を申し上げます。

グループワークで出された問題やご意見を基に、各事例に応じた対策案を示し「見守り活動」事業の充実と発展に向けて、より一層の取り組みを図っていきたいと思います。

「地域ケア会議」

篠路茨戸地区社会福祉協議会

会長 白戸黎一



「『親子ふれあいの旅』開催」

札幌市篠路茨戸地区青少年育成委員会

会長 清水和夫

協力により事故がなく、楽しく思い出に残る親子ふれあいの旅となり、改めて御礼と感謝を申し上げます。

好天の九月十日親子ふれあいの旅を開催。事前に申込された六十三名の参加者と

青少年育成委員十四名が、バス二台に分乗

し篠路コミュニティセンターを八時三十分

一路小樽市に向け出発、今回の旅先は、お

たる水族館、小樽市総合博物館、日銀旧小

樽支店金融資料館です。最初の水族館では

古代魚が特別展示中、イルカシヨーと海獣

公園や様々な魚類を見学その後昼食休憩、

次は博物館に移動、小樽の歴史や自然環境

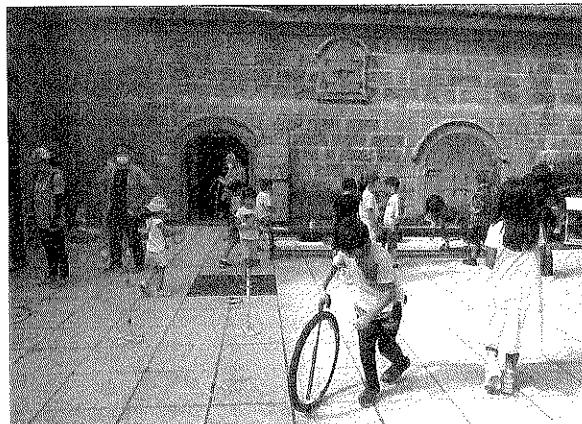
を学び昔の遊びを体験、最後は金融資料館

で紙幣と硬貨

の発行や流通

のこと学び、一億円の

重さ体験がで
き、子どもは
容易に持ちあ
げることが難
しく、大人が
やつと持ち上
げるほど重た



「赤い羽根共同募金

篠路茨戸地区民生委員児童委員協議会

会長 折目尚愛

翌年の三月三十日までとなっておりますので、お出掛けの際募金箱を目にした時には是非募金をお願い申し上げます。



街頭募金活動

篠路茨戸地区民生委員児童委員協議会

会長 折目尚愛

新型コロナウイルス感染症により、三年間に渡り活動の自粛をしてまいりました。

新型コロナウイルス感染症も二類から五類に移行し活動制限も無くなつたことから、令和五年十月一日に実施をいたしました。

「令和五年度合同視察研修」

札幌市北区保護司会篠路茨戸分区

分区長 藤林昭二

当日は、十八名程の委員が集まり北雄ラツキー篠路店前とアーケスノース店前の二箇所に別れて午後三時より四時三十分まで街頭募金活動を行い多くの皆様に募金をしていただき、心より感謝申し上げます。

赤い羽根共同募金は、昭和二十二年に

令和五年九月十五日(金)、平成二十五年から始まった、保護司会と地域の最も密接な関係団体である更生保護女性会篠

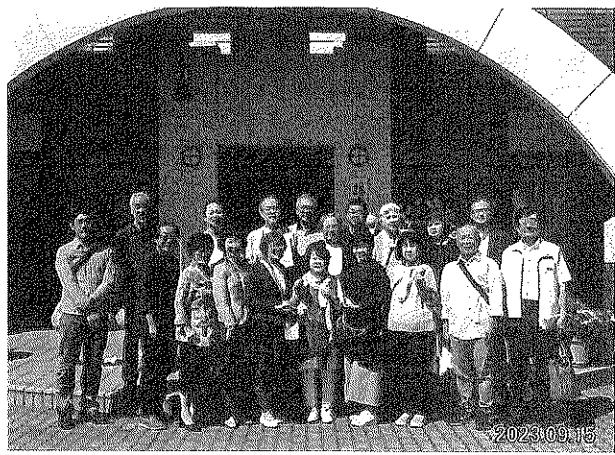
「國民たすけあい運動」として始まつて以来、赤い羽根募金として広く定着してきました。共同募金は、地域福祉のための募金であることから福祉活動に広く支援されています。

路茨戸分区との合同視察研修会が四年ぶりに開催しました。

今回はスタートした当時の視察場所の月形樺戸博物館・月形刑務所を、かねてから交流の深い北区保護司会屯田分区や篠路茨戸地区民生委員児童委員協議会・篠路茨戸地区青少年育成委員会を交え総勢二十名の参加です。

天候に恵まれた中、貸切バスで樺戸集治監の開監から廃監までの三十九年の歩み等を月形樺戸博物館で見学し、更生保護活動の中で自己研鑽に努めるため月形刑務所の施設見学を行いました。その後、茨戸ガーデン・ノースビルで会食をしながら意見交流会を行い、親睦を深めました。

今後も、関係団体とお互いに協力して地域の犯罪防止のため合同視察研修を進めて参ります。



2023.09.15

「篠路文化団体協議会」

会長 今井 巧

(十四点)・藍染(一名)の展示がされました。

二階茶室では茶会が開かれ、七十一名の着席者数がありました。

以上、第四十回記念文化芸能の集い開催のご報告をいたします。

当文化団体協議会において、篠路ユニティセンターと篠路茨戸地区社会福祉協議会の共催で、創立四十二周年第四十回記念文化芸能の集いを十月二十九日(日)に開催いたしました。

舞台では総勢六十一名が出演し、鑑賞者総数二〇〇名余が和太鼓・詩吟・舞踊・フラダンス・歌舞伎朗読劇等を楽しんでいただきました。

今回は、篠路歌舞伎保存会発足三十八年初公演で、舞台が大変盛り上がりました。

終演し最後には、餅撒きで来場者に喜んでいたただきました。

ロビーにおいては、会員の書道と非会員募集作品の写真五名



「久しぶりに実現した日帰りバスレク」

チヨボラ会
事務局担当 奥山睦

十月一日(月)、四年ぶりにチヨボラ会主催の日帰りバスは参加者二十九名で篠路コミュニティセンター前の広場を出発しました。

これまで地域の高齢者の方に楽しんでいただいていた恒例の行事の一つです。予報から危惧された当日の天気も参加された皆さんの笑顔が奇跡を生んでくれます。



我々が行くとこ、行くところで雨が我々を避けてくれたのです。仁木の山田園で果物、余市の水明閣で昼食【松花御膳】・入浴、余市ワイナリー工場見学、小樽の南樽市場等々と楽しい一日を過ごせました。

これもやわらぎ斎場さんの無料バス提供や宇内会長、黒田会計部長の暴風雨の中での事前の下見等のご苦労があつてこそでした。感謝、感謝。

「篠路コミュニティセンター」

館長 本橋幸子

令和五年十月七日(土)・八日(日)の両日、篠路文化祭運営チーム主催の「篠路文化祭」が開催されました。

今年は四年ぶりの通常開催ということ

で、七日は篠路中央保育園児による「篠路子ども歌舞伎」が行われ「舞踊 藤娘」「勧進帳」を見事に演じ切りました。午後からはコミュニティセンターで活動し

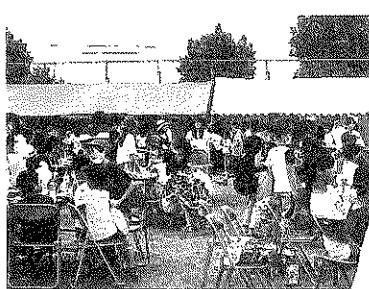
ている十六のサークル発表、八日は作品展示・販売、お茶席コーナー、帶結び体験、子ども工作コーナー、紙袋ランターン作りなどたくさんの体験が行われました。

「四年ぶりの柏葉まつりを終えて」

児童養護施設 柏葉荘

施設長 高津ひろみ

今後も地域の皆さまが集える場としてたくさんイベント企画していきます。



また、両日ともに行われた子ども縁日、古本市、篠路茨戸連合町内会女性部による食事コーナー、篠路茨戸地区青少年育成委員会による喫茶コーナー、篠路茨戸地区社会福祉協議会によるチャリティー バザーでは多世代の方々が交流し、賑わいを見せ、二時間で約一五八七人が足を運んでくださいました。

今まで、日に日に園内がキャラクターで飾られ、食券が配られ、ゲームの参加の可否を聞かれ、待ちに待った当日、「私は晴女なので天気は大丈夫です。」と豪語しましたが、前日の雨に一抹の不安が…当日は、少し暑いくらいの良い天気! 地域の方も沢山いらしていただき、何より、退所していく子ども達(成人してます…が私にとっては子ども)の笑顔に会うことができ、空白の時間が音をたてて埋まっていくように感じました。本

本当に楽しい時間を子どもたちと過ごすことができました。当日のお手伝いをはじめ、食事をするためのテーブル・イスも町内会のお力を借りしました。改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

来年も、お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

「昨年の夏祭り＆盆踊り大会を

振り返つて

篠路茨戸連合町内会

副会長 吹田嘉弘

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、今までにない異常な夏の暑さ（三十二℃）で毎日大変だったことと思います。

その暑さの中で連合町内会主催の「夏まつり＆盆踊り」が、八月十一日（金）上篠路公園内にて四年ぶりに開催することができました。

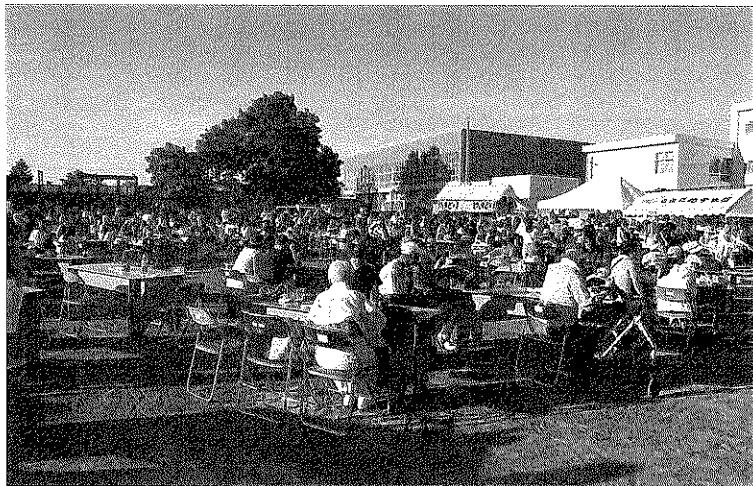
十二時から子供ゲーム「スイカ早食い競争」、「ジユース早飲み競争」が始まり、たくさんの子供たちが競技に参加し歓声があがりました。

十四時に進藤会長から開会の挨拶があり、その後、ご来賓の皆さんのお手伝いがありました。十五時からは、篠路太鼓の演奏、フラダンス、阿波踊り、ひょっこ踊りと続きました。十七時からは子供盆踊りと続きました。大人盆踊りとなり、たくさんの来場者が踊りに参加してお祭りを盛り上げることができました。

四年ぶりのお祭りだつたため準備が大変でしたが、当日は、多くの関係諸団体の皆様のお手伝いがあり無事開催することができまして心より感謝申し上げます。

今年も
皆様にと
りまして

良い年と
なります
ようご祈
念申し上
げます。



令和5年(第4回) 篠路茨戸 夏祭り＆盆踊り大会協賛寄附を頂きました

企業名称	代表者	氏名	企業名称	代表者	氏名
有限会社八王子商会	社長	島田正美様	篠路神社	宮司	森泰文様
親子ふれあい農園	園長	鶴見一雄様	カシダ天光堂	社長	樺田美保様
丸新産業株式会社	代表取締役	久保和也様	メガネのミヤタ	社長	宮田新様
アカツキ交通株式会社	会長	春原良一様	丸栄寺田商事(株)	社長	寺田哲様
株式会社 ベルコ	支配人	茂木清乃様	(株)札幌電商社	社長	小原弘嗣様
篠路茨戸地区社会福祉協議会	会長	白戸黎一様	(株)丸コマルコストア一本店	代表取締役	小向俊博様
ヒルズ・カンパニー有限会社	社長	岡 茂様	(株)Marinaホールディングス	代表取締役	鈴木一路様
森田商事株式会社	会長	森田直記様	(株)道新中西新聞販売所	会長	中西雄二様
やわらぎ斎場 篠路	支配人	山崎慎平様			

「篠路茨戸地区連合町内会創立七十周年記念祝賀会」を終えて

篠路茨戸連合町内会

祝賀会部会長 大 沼 満

じ連の阿波踊りは、出席した皆さんに踊りの輪の中に入るよう呼びかけ共に会場を練り歩き大いに盛り上がりました。

祝賀会の準備段階では、新型コロナの感染状況が判然とせず開催も危ぶまれる状況もありましたが、「祝賀会部会」はもとより、進藤会長以下すべての役員の方々のご支援ご協力により何とか無事に終えることができ、心より感謝申し上げます。

また、祝賀会の運営について適切なご指導をいただいた上口所長、会場で放映されたビデオの編集については、連合町内会前総務部長の奥山様、

内会前総務部長の奥山様、

及び同広報部長の鷹木様のご指導の下完成に至りました

ことに

紙面を借りてお詫び申し上げ

ます。

進藤幸司篠路茨戸連合町内会会長の主催者挨拶に続いて、「ぱっぴい」(北区のマスコットキャラクター)の見守る中、北区長の佐々木美香子様よりご祝辞をいただき、長年地域振興に貢献されたお二方、伊藤英夫様三澤禎一様に感謝状の贈呈があり和やかに式典を終えました。

祝宴に入り、余興では、しのろ太鼓の若さ溢れる力強い響きが会場を包み、フランダンスは、参加者全員に簡単な振り付けを指導して会場は笑顔であふれ、しの

篠路茨戸地区連合町内会は、昭和二十八年の設立以降、本年五月に創立七十周年を迎えることになりました。令和五年十月二十一日北区茨戸のガトーキングダムサッポロにおいて、北区長佐々木美香子様をはじめ、大勢のご来賓の方々、各種団体の皆様、三十五単位町内会の皆様総勢一四〇名が一同に揃い創立七十周年の記念式典・祝賀会が開催されました。

進藤幸司篠路茨戸連合町内会会長の主催者挨拶に続いて、「ぱっぴい」(北区のマスコットキャラクター)の見守る中、北区長の佐々木美香子様よりご祝辞をいただき、長年地域振興に貢献されたお二方、伊藤英夫様三澤禎一様に感謝状の贈呈があり和やかに式典を終えました。

祝宴に入り、余興では、しのろ太鼓の若さ溢れる力強い響きが会場を包み、フランダンスは、参加者全員に簡単な振り付けを指導して会場は笑顔であふれ、しの



令和5年(第4回) 篠路茨戸 夏祭り＆盆踊り大会に寄付を頂きました

篠路茨戸連合町内会 単位町内会、自治会

篠路横新道西部町内会	篠路グリーンハイツ町内会	横新道中央団地町内会
篠路横新道中央町内会	篠路横新道東部町内会	ダイアパレス篠路自治会
横新道第一町内会	篠路西町内会	篠路駅前団地第三町内会
篠路駅前団地第四町内会	篠路こまどり町内会	篠路あさひ団地町内会
篠路北町内会	篠路中央第一町内会	パーソナルハイツ篠路公園町内会
篠路第三グリーン団地町内会	篠路中央新街町内会	篠路ゆうあい町内会
篠路新生町内会	五の戸町内会	小鳩町内会
篠路五ノ戸の森町内会	篠路グリンピア町内会	グリンピア篠路中央団地自治会
グリンピア篠路中央団地1号棟自治会	北光団地町内会	十軒こまどり町内会
十軒朝日町内会	茨戸東町内会	茨戸西町内会
茨戸南町内会		

70周年記念祝賀会にご祝儀・お祝いの品を頂きました

所属名	役職	氏名	所属名	役職	氏名
篠路地区街づくり促進委員会	相談役	村松正海様	(株)共同道路工業	代表取締役	渡邊雅廣様
(有)八王子商会	社長	島田正美様	(株)ミカタ	代表取締役	堀川和雄様
しのろばらと健康づくりの会	会長	三澤禎一様	さっぽろしのじ連	連長	藤原節子様
篠路茨戸地区社会福祉協議会	会長	白戸黎一様	丸新産業株式会社	代表取締役	久保和也様
医療法人社団 五稜会病院	理事長	中島公博様	札幌市立篠路小学校	校長	千葉剛禎様
木田製粉(株)	代表取締役	牧野泰己様	札幌市立篠路中学校	校長	岡田直也様
木田製粉(株)	執行役員業務部長	中澤佳伸様	札幌市立茨戸小学校	校長	加藤康之様
アカツキ交通株式会社	代表取締役	春原良裕様	札幌市立篠路西小学校	校長	伊藤文雄様
ベルコ ユアホールしのろ	支配人	茂木清乃様	札幌市立百合が原小学校	校長	菅原隆司様
鹿島道路(株)北海道支店	支店長	高橋一様	札幌市立太平小学校	校長	岩清水剛志様
札幌市篠路コミュニティセンター	館長	本橋幸子様	札幌市立上篠路中学校	校長	林英昭様
社会福祉法人扶桑苑	理事長	田中和男様	札幌市立篠路西中学校	校長	鈴木隆史様

健康かわら版

篠路出張所

保健師 松浦恵麻

【がんの予防と早期発見】

日本人の二人に一人は、一生のうちに何らかのがんになると言われており、がんは全ての人にとって身近な病気です。がんは様々な要因で発症すると考えられていますが、生活習慣の見直しでがんに「なりにくくする」ことはできます。

がんの発症リスクを減らすポイント

- 禁煙・節酒・食生活の見直し
- 適度な運動・適正体重の維持
- がんの原因となることが分かっているウイルス等への対策



札幌市では、がんの早期発見を目的としてがん検診（胃・大腸・子宮・乳・肺）を行っています。がんは、早期発見により死亡リスクを減らすことができます。どの検診も、通常受けれるよりもおトクな料金ですので、この機会に「がん検診」を受けてみませんか？

がん検診に関するお問い合わせ

札幌市コールセンター

○一一一二二二一四八九四

編集後記

広報部長 田村美智代

令和五年五月より、新型コロナウイルス感染症対策が五類になった事により、連合町内会をはじめ、単位町内会・自治会、諸関係団体の活動がコロナ前に近い状態になってきたのではないでしようか。今回の「広報しのろばらと」は少しでも活動が始まつた町内会・自治会、諸関係団体の皆様に原稿を依頼したところ多数の原稿を提出していただきました。心より感謝申し上げます。

又、この度の能登半島地震に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

一日も早く復旧・復興をお祈りいたします。

